

# 目次

口 絵  
巻頭言

## PART I 理研の歴史と精神

1	財団法人理化学研究所	2
	理化学研究所の設立の背景／財団法人理化学研究所創設される／財団理研の発展	
2	株式会社科学研究所	17
	第一次科研（二九四八～五二）／第二次科研（二九五二～五六）／第三次科研（二九五六～五八）	
3	特殊法人理化学研究所	24
	科学技術庁と理化学研究所／新天地・和光へ／新しい理研への助走	
4	独立行政法人理化学研究所	31
	独立行政法人への移行／独法時代のセンターの改編／STAP論文問題	
5	国立研究開発法人理化学研究所	40
6	女性科学者の一〇〇年	45
	財団理研時代（一九一七～四八）女性科学者の黎明期／科学研究所時代（一九四八～五六）／特殊法人時代（一九五八～二〇〇三）／独立行政法人以降（二〇〇三～）	
7	社会への貢献——産業連携と科学技術ハブ	56
	産業連携本部	56
	研究成果を社会へ還元／パトerson制度	
②	科学技術ハブ推進本部	60

科学技術ハブ推進本部の発足／健康生き活き羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム／医学イノベーションハブ推進プログラム／創薬・医療技術基盤プログラム／予防医療・診断技術開発プログラム

8 これからの理研の一〇〇年 ..... 66

## PART II 理研の研究と成果

1 それぞれの一〇〇年 ..... 74

理研の宇宙線研究／工学研究の一〇〇年／生物科学研究の一〇〇年

2 グリーンイノベーション ..... 88

創発物性科学研究センター／光子工学研究領域／環境資源科学研究センター

3 生命科学イノベーション ..... 95

生命システム研究センター／多細胞システム形成研究センター／脳科学総合研究センター／統合生命医科学研究センター

4 研究基盤イノベーション ..... 104

バイオリソースセンター／ライフサイエンス技術基盤研究センター／計算科学研究機構／放射光科学総合研究センター／仁科加速器研究センター

5 これからの一〇〇年 ..... 116

革新知能統合研究センターの研究開発／数理創造プログラム iTHEMS／ニホニウムの発見から次なる元素へ

略年表 ..... 125

あとがき

○本書での研究組織は、二〇一八年四月一日より大幅に変更された。詳しくは巻末付表を参照。